1530　1540　1550（天文19）　1560（永禄3）　1570（元亀元）　1580（天正8）　1590（天正18）

ヨシアキ　ヨシシゲ

第19代　大友義長

第20代　大友義鑑　1515～1550

第21代　大友義鎮（宗麟）　1550～1576

第22代　大友義統　1576～

1550、大友二階崩れの変（2/10）
1550、大友義鎮、家督を継ぐ
▲1554、大友義鎮、肥前守護職に
▲1559、大友義鎮、豊前・筑前・筑後の守護職に
▲1587、大友宗麟死去
▲1593（文禄2）秀吉により大友家改易。

吉岡宗歓（長増）　？　～1573（天正元）

吉岡鑑興　～1578

吉岡甚吉

吉岡宗歓加判衆（1531～34）

吉岡宗歓　1534～1550の記録なし（失脚？）

吉岡宗歓　加判衆（1550～1573）

▲吉岡宗歓死亡（1573）

大友氏国除後、浪人
椎原五郎右衛門と改名。
その嫡子瀬兵衛、1621、
細川忠利に仕える。

国東郡方分

豊前・筑前・肥前方分として政務を担当。

▲1561（永禄4）：門司城攻防戦。
・伊美弾正死亡
▲1562（永禄5）大友義鎮と共に出家、
吉岡宗歓と名乗り筆頭家老に。
▲1564（永禄7）
今山の戦い（弟：大友親貞死去）
龍造寺隆信に大敗

▲1578(天正6)
耳川の戦いで島津軍に大敗

▲1586（天正15）
豊薩合戦
鶴崎城の戦い（吉岡妙林尼）

吉岡宗歓は、戸次鑑連・臼杵鑑速をつれ佐賀城で龍造寺隆信側と対面和睦する。

▲1587、豊臣秀吉による九州征伐
島津降伏。大友家は豊後1国と
豊前宇佐郡半郡を安堵される。

▲1569（永禄12）大内輝弘の乱
吉岡宗歓の策にて毛利の
の北九州侵攻を防ぐ。
・城井小次郎（死去）と
川窪掃部助の名が見える。

1560（永禄3）
■鶴崎踊り始まる
（戸次鑑連（立花道雪））

吉岡氏が千歳城に加え鶴崎城城主に？

▲1576、安武氏の海津城落城
■1577（天正5）久留米
豊後鶴崎城主鶴崎（津留崎）
石見守死去｛筑後尾島村｝
▲1579、久留米の大友の有力
家臣、草野家が龍造寺側へ。

大友家八将？

1545多久崩れ　肥前・多久の鶴崎源太左衛門　1574女山一揆

■1564（永禄7）
肥前大町町
鶴崎弥藤次、見える

豊州三老：
戸次鑑連・臼杵鑑速・
吉弘鑑理

「八将」
大友氏の有力武将：
田原・**鶴崎**・田北・吉
岡・伊美・吉弘・城井・
川窪

主な加判衆	1550～1557、小原鑑元・田北鑑生・雄城治景・臼杵鑑続・吉岡長増・志賀親守	1558～1570、吉岡長増・志賀親守・臼杵鑑速・吉弘鑑理・戸次鑑連	1571～1579、吉岡鑑興・志賀親度・臼杵鑑連・吉弘鑑理・朽網鑑康・田原親賢・佐伯惟教	1580～1587、志賀道輝・戸次鎮連・朽網宗歴